

自分の命は自分で守る！秋の交通安全教室10月1日(水)



死角

3人の交通安全教育支援センターの方に、「道に出たときどんな危険があるのかを覚えること」「覚えたことを行動にうつすこと」と話されて、主に3つのことについて教えていただきました。

【死角】「運転手さんからは、見えないところがある」ということを、子どもたちに車の周りにおいてもらって確認をしました。車の近くでは遊んではいけないことを改めて確認しました。



内輪差

【内輪差】「後ろのタイヤは、前のタイヤより内側をとおる」ということを、ダミー人形が車にひかれる（接触する）様子を見て学びました。交差点や信号の近くでは少し後ろに下がって待つ。特に、自転車の車輪は体の前にあるのでまきこまれないように注意する。



衝突実験

【衝突実験】小学生の交通事故で一番多いのが「とびだし」による事故。もしも、車と衝突したらどうなるか・・・30kmで走る車に衝突した時のドスンという大きな音。とばされひきずられたダミー人形。恐ろしさを目の当たりにしました。

- ・ 信号待ちをしている間、縁石に登っていることがあります。車と接触をしないように、歩道の少し後ろで待ちましょう。
- ・ 下校の時、話に夢中になり歩道や道路に広がって歩いたり、追いかけてっこをしたりすることがあります。広がったりふざけたりせず帰りましょう。
- ・ 横断歩道であったり、信号が青であっても、「止まって」「見て」「手を挙げて」渡るようにしましょう。

先日、千曲市内の中学1年生が登校時に、横断歩道を渡っていたのに自動車にはねられるという事故がありました。また、先月は本校でも自転車を運転中に、車と接触する事故がありました。「止まって」「見て」安全を確認することを常に意識するように、ご家庭でも声かけをお願いいたします。

たった1回のシンバル！校長講話（音楽会に向けて）10月8日（水）

運動会で頑張った姿を、スライドを見ながら振り返った後、「家路（遠き山に日は落ちて）」をハーモニカで演奏され、子どもたちは静かに聞き入りました。



この曲は、ドボルザークの交響曲第9番「新世界から」。第2楽章の最初に、この部分だけ取り出されて、詞がつけられて、歌われています。「新世界より」は、第1楽章から第4楽章まで全部演奏すると40分を超える曲です。実は、この曲の中で、シンバルは、たった1回だけ出てきます。いつ、鳴らすのでしょうか。シンバルを鳴らすのは、第4楽章が始まって2分くらいたったところ。つまり、演奏が始まって30分以上たって、ようやく出番がきます。それも1回だけ。40分でたった1回打つためにステージですっと待っています。その間何もしないわけではありません。バイオリンやトランペットなどの楽譜も用意して、それを見ながら打つ時を待つようにしています。ずいぶん前から、楽器をたたく位置にかまえて待っています。ステージ上がって30分以上、この瞬間のことだけをずっと考えています。そして、いよいよ自分の番になると打つわけです。すごい集中力と精神力が必要とされます。

音楽会の練習が始まっています。皆さんも、自分のパートに責任をもって、練習に励み、集中力と精神力で音楽の中に入り込んできれいな音や声を出せるようになってほしいと思います。10月24日の音楽会が楽しみです。

最近の学校生活から：校内音楽会・マラソン大会に向けて

今年の音楽会は、小学校最後の音楽会です。なので、いい音楽会にするために目標をたてました。一つ目は、自分の満足のいく演奏や合唱になるように努力すること。二つ目は、自分の楽器パートを責任をもって演奏すること。三つ目は、他の学年の演奏中も、最高学年らしい態度で聞くことです。最後なので、目標が達成できるようにがんばりたいです。（6年生）

